

様式11号

令和 5 年 9 月 22 日

兵庫県知事（県民局長）様

主たる事務所の所在地 兵庫県三田市弥生が丘2丁目13-4

医療法人名 医療法人社団 とくやまクリニック

理事長 徳 山 彰 俊

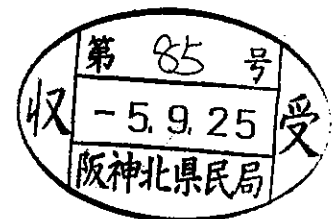
(連絡先電話番号) 079-562-0002

決 算 届

令和 4 年度の決算を終了したので、医療法第52条第1項の規定により届け出します。

(添付書類)

- 1 事業報告書
- 2 財産目録
- 3 貸借対照表
- 4 損益計算書
- 5 監事の監査報告書



(注)

- 1 貸借対照表及び損益計算書は、病院、診療所又は介護老人保健施設別のものを提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りる。
- 2 提出は会計年度終了後3月以内である。
- 3 貸借対照表の純資産額に変更があった場合は、会計年度終了後2ヶ月以内に登記事項（組合等登記令（昭和39年政令第29号）別表の資産の総額）の変更の登記が必要である。
- 4 正副2部（病院・介護老人保健施設を運営する法人、神戸、姫路市、尼崎市、西宮市に法人事務所のある法人は正副2部と受理機関の控えの計3部必要）

事業報告書

(自 令和 4 年 7 月 1 日 至 令和 5 年 6 月 30 日)

1 医療法人の概要 医療法人社団 とくやまクリニック

(1) 名称

- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☐ その他
③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 兵庫県三田市弥生が丘 2 丁目 13-4

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 9 年 12 月 24 日

(4) 設立登記年月日 平成 10 年 1 月 6 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	徳山 彰俊	とくやまクリニックの管理者である
理 事	徳山 弘子	
理 事	徳山 詩織	
監 事	古川 芳孝	
同		
評 議 員		
同		
同		

- 注) 1. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 42 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 47 条第 1 項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 49 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院			一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所	とくやまクリニック	兵庫県三田市弥生が丘 2 丁目 13 番地の 4	一般病床 0 床 療養病床 0 床 [医療保険 0 床] [介護保険 0 床]
介護老人 保健施設			入所定員 名 通所定員 名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
 2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。
 3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

			会議名	議決又は同意事項
令和	4年	8月29日	定時社員総会	事業報告及び決算書類の承認に関する件
令和	5年	5月25日	定時社員総会	事業計画及び収支予算（案）の承認の件
令和	年	月 日		

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医

療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

平成 年 月 日 （施設名・事業所名）

平成 年 月 日

平成 年 月 日

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

平成 年 月 日 （指定内容）

平成 年 月 日

平成 年 月 日

注）全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(7) そ の 他

注）当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 とくやまクリニック
理事長 徳山 彰俊 様

私（注1）は、医療法人社団 とくやまクリニック の令和4年 会計年度（令和 4年 7月 1日から令和 5年 6月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はありません。

令和 5 年 8 月 31日

医療法人社団 とくやまクリニック
監事 古川 芳孝

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。

様式10-2

法人名 医療法人社団 とくやまクリニック
所在地 兵庫県三田市弥生が丘2丁目13-4

※医療法人整理番号

財 産 目 録
(令和 5 年 6 月 30 日現在)

1 資 産 額	188,198 千円
2 負 債 額	10,865 千円
3 純 資 産 額	177,333 千円

(内 訳) (単位:千円)

区 分	金 額
A 流動資産	43,830
B 固定資産	144,368
C 資産合計 (A+B)	188,198
D 負債合計	10,865
E 純資産 (C-D)	177,333

(注)財産目録の価格は、貸借対照表の価格と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 □法人所有 □賃借 ■部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 □法人所有 □賃借 ■部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式10-6

法人名 医療法人社団 とくやまクリニック

※医療法人整理番号

所在地 兵庫県三田市弥生が丘2丁目13-4

貸借対照表
(令和 5 年 6 月 30 日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	43,830	I 流動負債	10,865
II 固定資産	144,368	II 固定負債	0
1 有形固定資産	88,972	負 債 合 計	10,865
2 無形固定資産	7,067	純 資 産 の 部	
3 その他の資産	48,327	科 目	金 額
		I 資本金	21,000
		II 資本剰余金	0
		III 利益剰余金	156,333
		IV 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	177,333
資 産 合 計	188,198	負債・純資産合計	188,198

様式10-8

法人名 医療法人社団 とくやまクリニック
所在地 兵庫県三田市弥生が丘2丁目13-4

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和 4 年 7月 1日 至 令和 5 年 6月 30日)

科 目		金 額
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		161,115
2 事業費用		154,059
本来業務事業損失		7,056
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
附帯業務事業利益		0
事業損失		
II 事業外収益		1,138
III 事業外費用		1
経常利益		8,193
IV 特別利益		3,943
V 特別損失		0
税引前当期純損失等		12,136
法人税		1,789
当期純損失		10,347

(注) 1 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。